

ことばの心配(ことばが遅い)

ことばはコミュニケーションのためのツールです

ことばが遅めのお子さんの中には、相手からの誘いかけに応じることや相手を遊びに誘うことが苦手なお子さんがみられることがあります。コミュニケーションを楽しむためにも、ことばというツールを上手く使えるようになることが、大事になってきますね。

☆大人とのやりとりを楽しむ☆

日常の遊びや生活習慣(洋服の脱ぎ着・食事など)の中でまずは、ことばにはならなくても大人とやりとりを楽しめるようになることよいですね。

理解できることばが増えないと
たくさんお話しすることはできないものです。



☆ことばの発達のめやす(一般的に)☆

- 1歳頃: ものの名前が言えるようになる
- 2歳過ぎ: 「わんわん、きた」などの二語文が聞かれるようになる
- 2歳半ば: 大小の比較がわかるなどイメージが発達してくる
- 3歳頃: 会話のやりとりができるようになる。何で? どうして? が多くなる

☆いろいろな経験を☆

小さいお子さんは経験の中で聞いたことばでないとよく理解できないようです。外遊びなどの経験を増やし家庭内の環境を整え、生活の中で大人がたくさんことばかけをしていくと理解が広がっていくようです。

☆いっしょに何かを見て☆

いっしょにものを見て、気持ちとことばを結び付け、お子さんと共有することがとても大切です。



おはな
だね~

ご相談のある方はお電話ください。

港北区福祉保健センター こども家庭支援課
こども家庭相談 540-2388



©横浜市港北区ミズキー